

1. 授業の概要(ねらい)

あるAさんが貴方に次の質問をしたとしよう。「この道路・橋をつくる時の税金を君は払っていない。だって、その時君は生まれていなかった。だから、君はこの道路・橋を通ることが許されない」。貴方はこの議論がどこか変だと思うだろう。しかし、なぜそう言えるのか。

商店で150円の価格のジュース1本を買うことは、「150円」と「ジュース1本」が対応していることを意味している。つまり、ジュース2本が欲しければ、300円を商店に支払わなければならない。Aさんの質問は、取引における「買い逃げ、食い逃げ」を念頭に置いているのだ。さて、生まれる前に作られた施設を私たちが利用することは、何を意味しているのだろうか。

私たちが日々享受している公共サービスの世界には、ジュースとお金の関係が必ずしも当てはまらない。例えば、あるBさんが、「私は、隣のCさんよりも、20倍税金を納めている。だから、Cさんの20倍の公共サービスを受け取るべきだ。または、私の子どもはCさんの子どもの20倍の教育サービスを受けるべきだ」と発言したとしよう。おそらく、多くの人はこの発言に違和感を覚えるであろう。実際、公共支出の世界においてBさんの論理は成立しない。

納税額の計算に公的サービスの利用量を考慮することはない。公的サービスの利用に、納税額が必要となることもない。しかし、公的サービスを皆が享受し、皆でその財源を負担しているのは間違いない。いかなる仕組みで、税が納税者に課せられ、人々に公的サービスが供給されるのだろうか。この問題に答えるには政府予算について学ばなければならない。

公的サービスを賄うお金の徴収と分配の実態を明らかにし、社会の秩序とその安定を図る政府の活動を分析する学問のことを財政学という。本講義では、教育財政、社会保障財政、政府間財政関係を理解するために必要な知識を扱う。最終的には、近年の諸改革を理解・検討するのに必要な知識・考え方を履修者に提供する。

2. 授業の到達目標

本講義の到達目標は以下の通りである。

- (1) 基本的な財政用語を理解し、その意味を説明できる。
- (2) 再分配政策が必要とされる基本的な理由を説明できる。
- (3) 教育財政の基本を理解し、その役割を財政学の観点から説明できる。
- (4) 公的年金制度の役割を理解し、その基本的な仕組みを説明できる。
- (5) 租税論の基本用語を理解し、その意味を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

小テストの点数(50%)、試験の点数(50%)によって基本的に評価する。ただし、以下の加点措置を実施する。

- (1) 加点レポートを提出することができる。提出者にはレポートの点数が上記の点数に加点される。
- (2) 講義中の教員の質問に答えることで、加点される場合がある。

4. 教科書・参考文献

教科書

講義にて講義ノート配布する。参考文献と講義の内容との関係については、講義にて説明する。

参考文献

神野直彦 『財政学 改訂版』 有斐閣、2007年。

高端正幸・伊集守直編 『福祉財政』 ミネルヴァ書房、2018年。

駒村康平編 『貧困』 ミネルヴァ書房、2018年。

小西砂千夫編 『日本財政の現代史Ⅲ 構造改革とその行き詰まり 二〇〇一年～』 有斐閣、2014年。

5. 準備学修の内容

講義ノートには、例題、予習・復習用の問題を用意している。予習の際には、次回の講義で扱う箇所の例題をよく読むこと。講義の冒頭で予習・復習問題に関する質問を履修者に提示するため、履修者は重要用語の確認や例題の復習をすること。この講義冒頭の質問にうまく答えた人には、場合によっては加点をする(3.成績評価参照)。

6. その他履修上の注意事項

- (1) 経済学の基本(需要曲線と供給曲線など)について簡単に復習していることが望ましい。
- (2) 財政学Ⅰを履修している学生は、本講義で知識を深めることができる。

7. 授業内容

- 【第1回】 財政学とは何か
- 【第2回】 市場と政府の役割
- 【第3回】 再分配政策と公共選択
- 【第4回】 教育政策と政府の役割について(1):なぜ、教育への税財源投入が正当化されているのか。
- 【第5回】 教育政策と政府の役割について(2):教育への税財源投入の範囲とその妥当性について
- 【第6回】 再分配政策と租税制度(1):租税制度の仕組みについて
- 【第7回】 再分配政策と租税制度(2):所得課税の理論とその仕組み
- 【第8回】 再分配政策と租税制度(3):消費課税の理論とその仕組み
- 【第9回】 再分配政策と租税制度(4):資産課税の理論とその仕組み
- 【第10回】 生活保護制度の役割とその仕組み
- 【第11回】 公的年金制度の役割とその仕組み(1):なぜ、公的年金制度が必要なのか
- 【第12回】 公的年金制度の役割とその仕組み(2):公的年金制度の近年の動向
- 【第13回】 医療保険制度と介護保険制度について
- 【第14回】 地方財政の理論と実際(1):日本財政における地方財政の重要性
- 【第15回】 地方財政の理論と実際(2):地方交付税の役割とその仕組み
 - ※ 進度などの関係で、一部変更する場合がある。